（第二種）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十三年九月二日（金曜日）　臺灣日日新報　第一万三千八百十三號　（一）

臺灣昌新幸民夕刊

九月一日
夕刊定価一部二錢
編輯兼發行人　佐々木　寧
發行所　臺北市榮町四丁目二番地　臺灣日日新報社
電話（代表）五五一番　基隆支局　臺中支局　臺南支局　花蓮港支局
大阪市西區阿波座通一丁目　大阪支局
東京市芝區櫻田本郷町一番地　東京支局

武漢の江南外廓崩る
德安の陷落目睫
皇軍三方より猛進撃
敵廿箇師今や袋の鼠

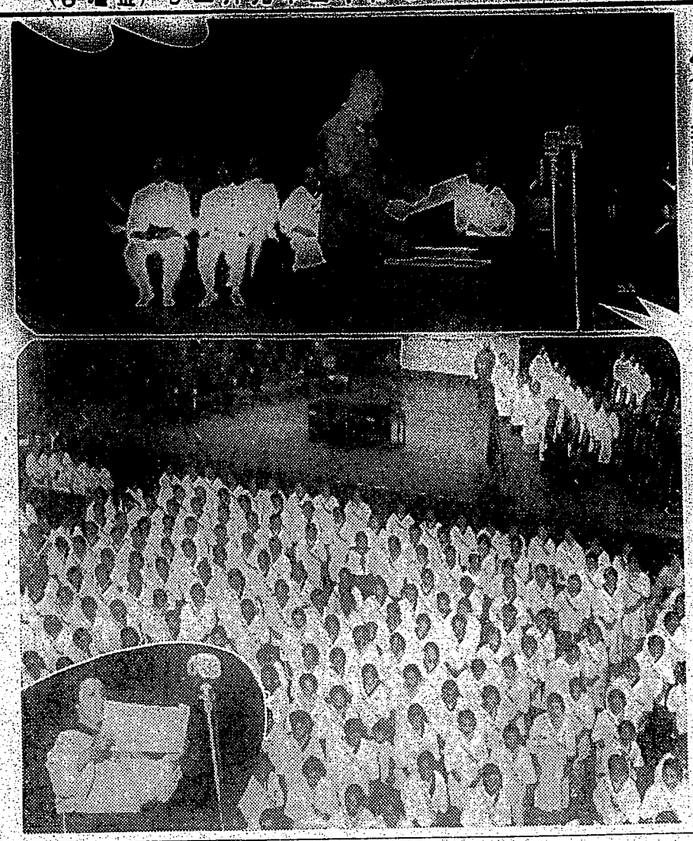
【上海三十一日發同盟】マ部隊は漢口防衛の最重要地點南昌地區に置き、其後第四十個師を北部に配備し武漢防衛司令官隷下の第五軍團に司令部を通ぜ南昌方面に出陣して會戰に大益

先づ鄱陽湖岸星子に上陸した我が〇〇部隊は東弧山に於て強力なる敵と遭遇し激戰數日にして三十一日これが隘路を突破し德安八里の地點に迫つてゐる、更に九江を攻略し南潯線に沿つて南下中の〇〇部隊も廬山西方地區において敵數箇師と相對峙しこれも德安四里に迫つた第三の九江より西進し瑞昌を奪取後德安街道を南下した〇〇部隊は馬鞍山の西方峠山を突破し德安に向け猛進中で既に德安四里に迫り德安の陷落は日睫の間にある

德安に於ける敵の一部隊は武漢防衛の最重要な南方地區の護衛を二十六日以來續けてゐるが、更にこの地區に於ける敵の運命は今後の戰局に重大な影響を與へるものと見られ敵は德安街道を南下する我が部隊を擊滅せんと左の如くである

二十師團はまさに袋の鼠となつてこの殲滅戰に投入されるの外なく、德安の陷落は武漢防衛の最重要な南方地區の護衛を喪失するの意味を有し、武漢の運命は今明日中の德安陷落如何に懸つてゐるとなつて居り、德安の攻防戰は實に武漢三鎭の運命を決する最後の關頭にあるといふことが出來る

針持つ腕、組合ひて
銃後護る國婦會
けふ公會堂で發會式



寫眞說明

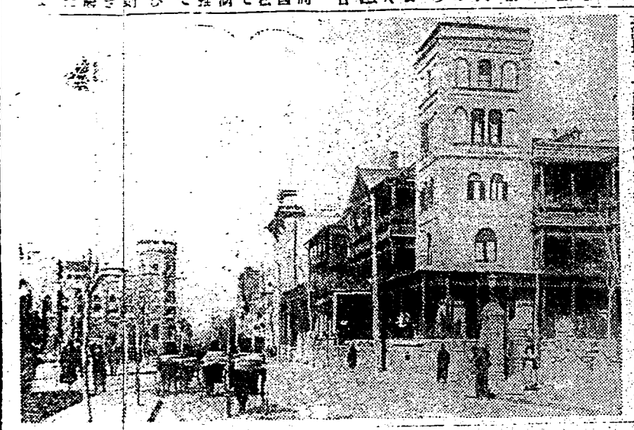
(上)古莊軍司令官の告辭(下)參列の國婦會員、囘内は古莊本部長の挨拶

昨年事變勃發國防上の見地より擧國一致銃後の務めを全うせしめ我が國古來の婦德を發揮する目的のもとに各地に次々本國防婦人會の結成をみ

愛國 の至情を皆エプロンに、國に盡ひを襷にかけて文字通り果斷邁進、凡ゆる方面にめざましき活動が續けられて來たが、聖戰ここに一周年、各地の分會を通じ方的に統制指導の便を圖しめ更にこれを統一し一致する本島中央機關を設けて今後に處する內容の充實を圖り、益々會の發展を期して所期の目的遂行に邁進せんとする國婦會北地方本部並びに同會臺南本部の發會式は既報の通り廿四日午前九時より台北市公會堂大講堂に於て擧行された、會するもの台北市內各分會會員をはじめ遠くは宜蘭地方本部會員其他各地代表者、在鄕軍人會婦人部員並びに

指導 員等二千餘名、陛下の御稜威の下、擧國一致聖戰の大目的、各分會員に相對して無言の裡に銃後國防が益々明かに示せられるの氣魄が感ぜられ、定刻より稍遲れて九時十五分、在鄕軍人會台北支部副部長下村部長、軍司令官をはじめ軍部側田中參謀長、警察側官邊警務局長、增岡衛生課長、藤田台北州知事、石井台北市尹、それに河村本町長、加藤吉振社長、三好信三郎氏等來賓並に各地代表者實に千餘名、會場は殆んど立錐の餘地なき迄に埋められ、定刻に先づ古莊本部長の開會の辭に次で一同默禱を捧げ、軍司令官を始め來賓、松岡市佐が次々祝辭を述べ、松岡市佐が乾杯の發聲で祝宴に入り地方本部長として滿場相手裡に田中參謀長夫人を推薦されれば田中地方本部長代つて

挨拶 を述べ、次に國防婦人會の使命と題して古莊本部長の講演があり、次に軍司令官、武藤會長(市川經理部長夫人代讀)の告辭、來賓として小林總督、河村本莊長、愛鄕本部長森岡長官夫人の祝辭、陸海相、馬公要港部司令官はじめ各地よりの祝電數十通の披露あり、力强く會歌を合唱して一同萬歲三唱、十一時すぎ散會した



多大の犧牲忍んで
邦人ら引揚げ
天津英佛兩租界に異變

【天津二日發同盟】天津英租界四馬路に於ける邦人の引揚げ、會社、銀行、商店の閉鎖は二日も引續き行はれ、午後三時現在に於ける引揚げ人數は約千五百名に達し、殘留邦人は僅かに二百名を數へるに過ぎない、尙ほ引揚げ人の中には多數の婦女子を含み、中には病人、老人等もあり、引揚げ人の荷物は一人當り僅かに手荷物のみに限られ、殘留邦人の財產は一切凍結されるので、引揚げ人は殆んど無一物の狀態である、尙ほ引揚げ人は二日

夏の小兒病の三八%は寢冷からの病氣

お腹だけ溫めても駄目　足が冷えるのがいけない

醫學博士　川崎經廣

夏はよく腹冷をいたします。この腹冷なについて統計的に研究した報告の考へが間違つてゐるやうです。大體は、夏は暑いので、ぬけ出しでお腹を冷やすからねびたるのだらうと云ふので、お腹のあたりをうんとまきつけて大丈夫と思つてゐますが、それでも、ねびたをするのです

ねびたによる病氣が、八月中で二八・五%で、消化不良や腎臓カタルは合計で三一・八%といふ統計があります。これでみても夏多いと思はれる風邪は夏の腹冷から案外多く罹ることが知れませう

×

腹冷を專門的に申しますと、細菌の作用でなく、單純な低溫作用により皮膚の血管が收縮して腹部腸の充血を起して主として消化管の充血を起した場合を云ふのであります。從つて原因は、全く體溫と關係にありますから、時によると發熱に云ふハナカゼとなり、或は消化の外に腎臓や膀胱が犯されて疾病を起すことなります。

腹冷は、大して機關がわるくないのに、腸があり、少々下痢をする、或はおつこぶ少ない、或は輕い疾が出る、食慾があまりないと云つたやうな時で、おとなしくない

それかと申し別にくつたりする程でなく嘔吐もなく、又前日にわるい食事をやつたとか食べすぎをせたとかのわけもなしといふ程度です。熱は三十八度前後、下痢としても四五回の水樣便、嘔吐が赤くなつてゐます。或は輕い、最も腸炎がありません。時には氣管枝炎の輕いのが認められます。或はおしつこを檢査する腎臟炎を認めるといふやうな症狀です

×

この腹冷について最も注意することは、前申した樣に、お腹だけを溫かくすればいゝと思ひ、毛布やふとんをまいたり、腹巻を厚くしてまつけてゐるのですが、足の先にはあまり氣をつけないので、足はびん〳〵はね廻つてゐます。そのでですから、上部を溫めすぎて冷えます。その上部を溫めすぎて冷えます。その結一層、足が冷えて來ます。冬はさかに、足をとんの外へ出すことがないので、この點からも冬に、ねびた腹の腹はすくいわけですから、原因としても、治療としても、お腹は勿論、足の先もよく溫めるには及びません。冷をかけ、あたためるのは、なるべく輕いもの（かいまきでも、浴衣でもよい）を掛けて、ふくか、長いモヂか、大きい袋をはくのがもつといゝと思ひます。

そして、夫々現れた症狀に對しては例へ腹痛が良には、食部を輕く壓迫してやることが腹痛の手當、膀胱炎には、暖いたらしたり、本綿の下に手を二つ折りにして、臍に當てとかする必要があります

腹冷は上の如く大した症狀でなく、膀胱炎を起し易くせいぜい十日間には治つてしまふものですが、大切な事は、抵抗力が弱つて他の病氣に罹り易くなることと腹痛に關係してゐる事とであります。腹冷そのものは大した事がなくとも、其原因を注意して充分に後を氣をつけ出來るだけ、皮膚を充分にしなければなりません

夏季聚落を終つて【上】

將來も是非繼續したい

大場孫治

はしがき

本年台北市教育が主催となり草山夏季學園を開き市內小學校の優秀兒童を收容して夏季聚落を實施したが、終了後入園兒童の保護者に感見や感想を聽いて見た。實は始めての試みで果して聚落の期待に副ふことが出來るかどうかを恐れてゐたが何れも大滿足の回答であつた、經營の點に當つた者も大體圓滿に行つたと思つてゐたがこの聚落を繼續していく〳〵自信もつき將來此の點に關聯して實施せむるやうにお願すると共に一般保護者の御諒解を得たいと思ひ、又此の施設が一般兒童教養——特に健康教育の參考資料にもならうかと思ひその實施狀況と所感を述べて見ることにした。

入園兒童

全島の學校身體檢查の規則が本年——內地は昨年——から改正されたが、その檢查の結果臺灣に於て特に對策を講じ養護することを規定されてゐる。

こんな兒童は約三、四%はあるのである。國民體位向上の叫ばれる時局に於て健康兒童を益々增加することは勿論必要であるが、健康に恵れない此の種兒童の健康增進を計り全般的に健康教育を進めることも亦肝要である。殊に臺灣に於ては

一、育する父兄の參觀である。

台北市教育當局では本年度の學校衛生研究題目の一としてここ若草山夏季學園を開き市內小學校の健康指導を收容して夏季聚落を實施したが、終了後入園兒童の保護者に感見や感想を聽いて見た。實は始めての試みで果して聚落の期待に副ふことが出來るかどうかを恐れてゐたが何れも大滿足の回答であつた、經營の點に當つた者も大體圓滿に行つたと思つてゐたがこの聚落を繼續していく〳〵自信もつき將來此の點に關聯して實施せむるやうにお願すると共に一般保護者の御諒解を得たいと思ひ、又此の施設が一般兒童教養——特に健康教育の參考資料にもならうかと思ひその實施狀況と所感を述べて見ることにした。

入園兒童

全島の學校身體檢查の規則が本年——內地は昨年——から改正されたが、その檢查の結果臺灣に於て特に對策を講じ養護することを規定されてゐる。

こんな兒童は約三、四%はあるのである。國民體位向上の叫ばれる時局に於て健康兒童を益々增加することは勿論必要であるが、健康に恵れない此の種兒童の健康增進を計り全般的に健康教育を進めることも亦肝要である。殊に臺灣に於ては

醫學博士　川崎經廣

市內各小學校から少くて數名乃至十二三名を出したのである。

職員

又園長なる市の矢土助役、顧問長たる各協學務課長も時々來園し

連載マンガ　日の丸ベンチャン（2）　下川四天

葉菜類の調理　五ケ條の注意

無駄を出さぬやうに

野菜類の中で葉つぱのものは、とかく無駄が出たり、榮養分を損ふ場合が多いのですが、次の五ケ條の注意を心得ておくと、決して無駄が出ません

一、茹で用ひる場合、ほうれん草、小松菜などの葉菜類のゆで汁は、これを捨てないで、汁ものや煮ものに利用すること。また茹でに際するのも、ムダにしまつた樣に、お腹だからすぐフライパンに入れて調理すること。

二、油炒りした葉菜類は、相當に水分があるのでこれに煮出し汁、または湯を加へて適宜に調味すれば、色は多少にごつてゐますが、なかなかうまいスープがつくれます。

三、ヒタシその他にされる場合、必ず切るまへによく水分を絞ること。細かく切つてから絞るとマヽ味と榮養分をしぼりすてることになります。

四、茹でた葉菜類は、水で洗つて絞をむいて食べることですが、より一層消化榮養を求めるためには、林檎、梨、柿などの如く外皮の堅いものは洗滌石鹸をよく泡立てて一つくにこすりつけて洗つて後、よく水ですゝいで用ひます。洗滌石鹸には消毒殺菌力があります。ご飯には、アルコールで外皮を拭くこともあります。

又饅頭のやうなものは、過マンガン酸加里（無臭で殺菌力が強い）を少々溶かした水で洗つてからあと二回水ですゝいで用ひます。しかし、饅頭などにこれを用ひると褐色して不味くなりますから醋水で洗ふ方がよいでせう

五、野菜特有の香味を失はないやうに注意すること。

——◇——

ですから、今その和洋折衷の歩き方を具體的に記しますと、先づ足の運びは歩幅を從來より短く運びを少し速く、一呼吸に二歩又は三歩ぐらひにし、爪先をやや內側へ向けるやうに足を運び、それから腰を捻ぢ、身體の上部を腰の上へつけたやうに姿勢を正しく、あまり肘がみに歩くのは慎まねばなりません。まりとて、餘り反つて歩きまたことも禁物であります。眼は三四十歩前に注ぎ、手は餘り身體の兩側へ自然に垂れ、ハンドバックやパラソルを持つ時は餘く自然に持つこと脚も心持ひらき頭は肩の上へぐらつかないやうに正しておき、しとやかさを失はないやうに心掛かねばなりません。歩きながらチラ〳〵商館をえり方へ配るのはいかにも落つきがなく女らしさを失ひますから氣をつけて下さい（小柳浪子）

歩行には動的な美しさを

姿態のくづれぬ樣御注意

歩く姿の美しさは今が一番目立つ時です「立つては芍藥、座れば牡丹、歩く姿は百合の花」といはれて、これが昔から美人の姿態の形になつてゐます。しかし、時代はこの姿に變化を加へます。殊に今日のやうな時勢にあつては、たゞ徒らに美しいといふことを第一にすべきではありません。美しさが人形のそれであることは愚かのことで、今では活々とした動的美が要求されます。健康美動的美こそ望ましいものであります

本の婦人は前からみになつて小刻みに歩くのが一般の習慣でしたが今では、こんな歩き方は美しい歩き方とはいはれません

理想的な歩き方としては、歐米の婦人のやうな姿をした歩き方を、從來の歩き方にたりいたのを見て現代の日本婦人の歩き方の理想としたいと思ひます。しかしあの歐米婦人の闊歩といふにはよいのですけれど、これをそのまゝ日本の婦人の歩き方にすることは勿論出來ません。それは衣服の關係から身體の關係から到底不可能ですし、あのやうな歩き方には日本婦人の美點である優雅さ

味ふべき　健康法十則

ベルシヤ醫學研究所の發表

一、野菜特に葉菜の攝取をすくしておくこと
二、茹でた野菜を水につけることも水溶性の榮養分を失ふ。
三、オヒタシにする以外の調理法では、それ等を生から直接用ひることが、榮養分も假拵せず、經濟的、汁の實等も生から切り込んで入れる事また金圍で炒めて用ひる場合も生からすぐフライパンに入れて調理すること。
四、油炒りした葉菜類は、相當に水分があるのでこれに煮出し汁、または湯を加へて適宜に調味すれば、色は多少にごつてゐますが、なかなかうまいスープがつくれます。
五、野菜特有の香味を失はないやうに注意すること。
六、茹でた野菜を水につけることも水溶性の榮養分を失ふ。
七、ヒタシその他にされる場合、必ず切るまへによく水分を絞ること。細かく切つてから絞るとマヽ味と榮養分をしぼりすてることになります。
八、ゆでた野菜を水につけることも水溶性の榮養分を失ふ。
九、
十、

かすで知存御

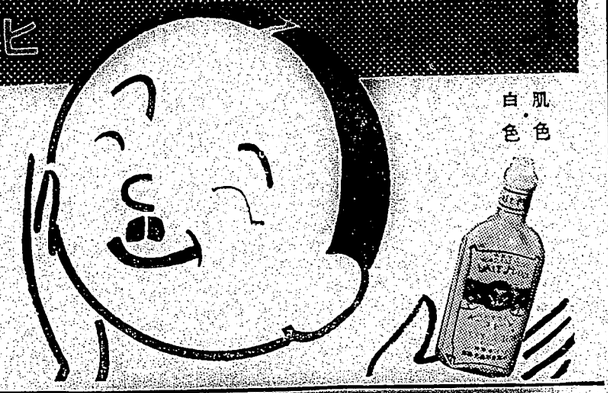
毒消の類物果

果物はよく水で洗つて皮をむいて食べることですが、より一層消毒榮養を求めるためには、林檎、梨、柿などの如く外皮の堅いものは洗滌石鹸をよく泡立てて一つくにこすりつけて洗つて後、よく水ですゝいで用ひます。洗滌石鹸には消毒殺菌力があります。ご飯には、アルコールで外皮を拭くこともあります。

又饅頭のやうなものは、過マンガン酸加里（無臭で殺菌力が強い）を少々溶かした水で洗つてからあと二回水ですゝいで用ひます。しかし、餡などにこれを用ひると褐色して不味くなりますから醋水で洗ふ方がよいでせう

る濕は美性男の刺激に滴一の後り剃ゲヒ

トーフトーレ



虚弱衰弱者が最も注意を要する夏季より初秋にかけて　本劑の常用は誠に有效であつて食慾を進め便通を整へ睡眠を佳良にし　以て漸次に抵抗力体力を強化し健康を向上するのであるが又非常時下　銃後國民に強剛の精神と体力が要求される今日一般健康者も殘暑酷熱に抵抗するエネルギーの供給源として　本劑の服用は大いに意義がある

帶狀疱疹　急性傳染性膿皮症　急性傳染性黃疸　腸窒扶斯　猩紅熱後期　産後等（小瓶　二・〇〇　大瓶　三・二〇）
神經痛　リウマチス　坐骨神經痛　神經性諸疾患　皮膚疾患　胃酸過多症　白血病等（小瓶　二・三〇　大瓶　三・七〇）
腺病質　ヨードブルトーゼ（小瓶　二・三〇　大瓶　三・七〇）
虚弱兒童　肋膜炎　肺尖加答兒　結核性疾患等（小瓶　二・六〇　大瓶　四・三〇）
產後強兒　乳幼兒虛弱　老齡者通勞等（小瓶　一・八〇　大瓶　二・八〇）

ンモルホトウア血造

ボートルブ強補壯血

各帝大病院常備藥

B 1369

皇進代無「桑源の動活」子册

店商吉友澤藤　社會式株

大阪市東區道修町　東京市日本橋區本町　京城府西門小町

江戸桃花陣 (129)

海音寺潮五郎作
富永謙太郎畫

金亡者 (九)

三五郎がしをれると、置長岡はまた物やかな調子になつた。

「さ、御用聞らもんちやんな。手をかしな。百両で手打ちと……」

「あつしてまあそれで いと言ひますが、外の親類か……」

しぶり〳〵三五郎が言ふと、置長岡は笑つた。

「御百とツが入かい。いいよ。心配することアねえな。あの二人は二人で、御小判知さある。こんところは、てめえだけが殊勝くれれば いいんだ。とにかく、手をかしな。しめよう」

「いやその前にもうときめて置きてえことがあるんで。先づ、金でござんすが、いつ いただけませ

「明晩、本人と引換にやらうと」

「その次は、引き渡しの方法でござんすが、何とかうまい方法を考へねえと、寺の裏坂先本人にわかつたりすると、あとの祟りがうるせえと……」

「よし〳〵、都合の悪いのはこつちも同じだ。かりに御上の御用を聞てるお仲間が、いざこざなしにさらはれ人を聞つて来たなんてことがわかつては、かしなものだ。それについては、ちやんと方法を考へてある。耳を貸しな」

置長岡は、三五郎の耳に口をつけて、ひそ〳〵とささやいて、

「な、いいだらう」

「わかりやした」

それで、めでたく手打がすんだが、すんだ所で、また改まつて、置長岡は言つた。

「もひとつ、聞さてえことがあるがの」

「へえ」

三五郎には、相手が親類のことを聞きたいと思つてることがすぐわかつたが、しらばくれた。

「昨日の蝶さんのことだよ、どこにかくしたかの」

「あつしア……」

「おい〳〵、めえも案外あつさりしねえやねえか。言つちまへ、言つちまへ。こいつも無代で聞かうとは思はねえ。相当なものは揚うつもりでるるんだぜ」

「……」

「祝い酒を出すのが、惜いやにざんすが、何とかうまい方法を考へねえと、寺の裏坂先本人にわかつたりすると、あとの祟りがうるせえと……」

「よし〳〵、都合の悪いのはこつちも同じだ。かりに御上の御用を聞てるお仲間が、いざこざなしにさらはれ人を聞つて来たなんてことがわかつては、かしなものだ。それについては、ちやんと方法を考へてある。耳を貸しな」

置長岡は、三五郎の耳に口をつけて、ひそ〳〵とささやいて、

「な、いいだらう」

「わかりやした」

それで、めでたく手打がすんだが、すんだ所で、また改まつて、置長岡は言つた。

「もひとつ、聞さてえことがあるがの」

「へえ」

三五郎には、相手が親類のことを聞きたいと思つてることがすぐわかつたが、しらばくれた。

「

臺灣日日新報
（第二版）（明治一卅一年五月九日第三種郵便物認可）
昭和十三年九月二日（金曜日）
臺灣日日新報社
第一万三千八百十三號

十萬の敵袋の鼠
武漢外廓の大殲滅戰

【小池口一日發同盟】 寺垣、八見、藤岡、太田各部隊の山嶮地帶强行突破に依り田中、園田、太島、市岡各部隊前面の敵は完全にその退路を斷たれ更に孤立より南進する津田、飯塚、鳥海、山田、八隅、大島各部隊の猛攻に逐次前線部隊は山岳地帶に退却し同地帶一帶約十萬の敵は玆に完全に我軍に包圍され文字通り袋の鼠と化するに至つた、斯くて徐州大殲滅戰以來の殲滅戰は武漢攻略開始以來僅かに五日にして迅速果敢にも達成されつつある

武穴要塞眼下に睥睨
敵大軍を西方に壓迫
石本、平田部隊進出す

【東京一日發同盟】 馬穴要塞眼下に蟠踞して居た敵の一大軍團は、我が石本、平田兩部隊の急進擊に遭ひ、一部は南方に潰走し、一部は西方に退却を開始した

【〇〇一日發同盟】 廬山西南の諸敵を擊破し、潯陽中の寺垣、園田、太田各部隊は本日午後三時現在安徽の境界線を突破、更に一部は江西に進入した、寺垣部隊は一日午前十時半、德安より南方十七粁、各部隊特に右翼部隊は德安より一日遲れて德安を中心とする敵陣地を擊破しつつ南方に前進を續けてゐる

火花散る激戰

【九江一日發同盟】 馬鞍山を攻撃中の部隊は三十一日夜、一擧に乘じて馬鞍山の西方約二里に位する諸敵陣地に肉薄し一日拂曉遂に之を陷れ

一字山を完全占領

の結果、午前一時二十分頃遂にこれを奪ひ山麓に向ひ日章旗を高く掲げた、一方東側攻撃部隊は敵の退却に乘じ更に馬鞍山の敵陣地に對し更に馬鞍山攻略戰中である

南昌街道の據點
小陽舖を占據す
潯鷺の敵を粉碎南下

【九江一日發同盟】 九江方面より馬鞍山西方地區を目指し進擊したわが有力なる〇〇部隊は遂日の激戰を經て昨三十一日夕刻、南昌街道を南進、馬鞍山より同街道に沿ふ廬山山麓の諸據點の敵を撃破し南昌街道の要衝小陽舖近くに進出二十一日夕刻これを占領した、夜に入るや敵は殘敵に至る迄死物狂ひの大逆襲を全力を擧げこれを奪

德安まで十七粁
曹家坂を完全占領

【〇〇一日發同盟】 廬山西南の諸敵を擊破し潯陽中の寺垣、園田、太田各部隊は本日午後三時現在安徽の境界線を突破、更に一部は江西に進入した、寺垣部隊は一日午前十時半、德安より南方十七粁、各部隊特に右翼部隊は德安より一日遲れて德安を中心とする敵陣地を擊破しつつ南方に前進を續けてゐる

西縞店を占領
六安より前進又前進

【九州一日發同盟】 六安を逸脫したわが部隊は、一路北進を續けてゐるが、その前面の敵もわが方の壓迫に堪へず二十一日夕頃を期して敗走し、爾後に於ける敵の抵抗は僅かに後衛部隊の小規模なものに過ぎなくなつた、二豊坂に陣地を構へた敵は二日六十の死體を遺棄したが負傷兵を合すれば敵の損害はその兵力の半數に及ぶものと見られてゐる

黃河北岸一帶を確保
孟縣に威風堂々入城
洛陽の敵は大混亂

【九江一日發同盟】 黃河北岸坂頭鎭を攻略同地一帶を完全に確保したわが〇〇部隊の主力は引續き殘敵の掃蕩に努めつゝあるが、孟縣の敵は既報の如く三十一日午後六時頃遂々と入城した、わが皇軍は孟縣攻略に依り洛陽は既に目指す大包圍陣に陷つてゐると

黃河河畔に砲聲殷々
對岸鐵謝渡を砲撃

【九江一日發同盟】 行動自由以來益々その勢を擴大した我が〇〇部隊の一部は黃河北岸の要衝鐵謝渡の對岸西北方の敵を砲撃、敵陣地の一角に火柱と黑煙を擧げ、砲聲は殷々として對岸に轟き渡つてゐる

始開定査算豫府督

五億圓の要求額をいかに査定するか
如何
米管案實施經理の爲
特別會計の設定案

【東京一日發同盟】 豫算閣議は來る二日午前十時より開かれ、總額四十億圓を突破する明年度豫算案の最終的決定を見る筈であるが、豫算總額の決定に先だち、その財源の問題が重大化してゐる、即ち豫算總額の決定は、その財源の問題と密接な關係があるからである、而して豫算總額の決定は、豫算編成の最高方針に關する閣議決定を俟つて初めて可能であるが、この閣議決定は、豫算總額の決定と同時に行はるべきものであるから、豫算總額の決定は、財源問題の解決を俟つて初めて可能であるといふことになる、從つて

米穀管理に次いで肥料をも管理

適地、適作、適肥主義で
一億五千萬圓增産案

臺灣の鋼材配給
簡便且つ迅速を要望
內地の配給系統と異る點

米麻袋不足期間の
配給統制機關
殖産局にて設立準備中

本年上半季の
內外經濟界（上）
臺銀總會における頭取演說（要旨）

內外商況欄（一日）
厄日颱風上陸に
人氣沸騰跡形落

臺灣銀行總會
一分增配を實現
玉置、加藤、曾我氏は重任

臺銀の
小異動
百崎氏は新興製糖入り

八月の蓬萊移出
百四十五萬袋
移出餘力百五十萬袋

島內商況
颱風に上寄
一市一正
りアト反落

臺灣の
一分增配を
實現
玉置、加藤、曾我氏は重任

臺銀の
小異動
百崎氏は新興製糖入り

八月の蓬萊移出
百四十五萬袋
移出餘力百五十萬袋

內外商況欄（一日）
厄日颱風上陸に
人氣沸騰跡形落

臺灣の鋼材配給
簡便且つ迅速を要望
內地の配給系統と異る點

米麻袋不足期間の
配給統制機關
殖産局にて設立準備中

本年上半季の
內外經濟界（上）
臺銀總會における頭取演說（要旨）

臺灣銀行總會
一分增配を

炬火から電燈まで

ランプに代る蠟燭の流行

（上）

火の使用ということは、人類の前に開けた偉大な出口を開いたものである。それは人に武器をあたえることをやめてだけや、技術、衣服と發展させるための力を與へた。それはまた寒い季節を樂に越してゆけるやうな熱を供給するごとによって、人類の肉體的以外の地方への征服を可能ならしめた。しかしながら、その最も重要なはたらきの一つは疑ひなく物を照らす手段を與へ、從つてまたさうでなければ發展されてしまつた暗黒の時間をも一日の樂のうちに附け加へたといふことにあつた。特にこの一日の長さを延ばすといふはたらきは、著しいものを與へ、彼とが一年中の大部分を費やする場所や、職業の關係から晝間は非常に大なる價値を有つてゐた。さればこそわれわれの見ゐ多くの燈火の工夫はこれらの地方で發明され、發達させられたのであつた。

×

人類が最初に得た火から作られた燈火を發見とし、それ以後、酷しく長い初期を過して、數々の變遷の後に發明されて來た。何百年、いや恐らく何千年もの間人間のそばにあつた燈火は燈火であつた。そしてそれを發見には戸外の照明のために今日あたはそれが用ひられてゐる。

ランプが發明されたのもずつと早い時代のことであつた。それが如何に古いことであつたかは、あの洞穴の壁畫家たちが、南フランスやスペインの洞穴の中で、驚嘆すべき獲物であつた。そしてそれ以來ヨーロツパからは姿を消してしまつた馴鹿の群れや、さまざまの動物の姿の上に、その燈火の光を投げてゐるのを見ても明らかである。

重水と生物

―重水は生物を殺したり寿命を縮めたりする―

「生物」がもし普通の水の代りに重水（化学名は二酸化水素）を飲むならば、その體にとつて或は死亡、或は死なないまでも著しくその壽命を縮めるといふことが、アメリカのユール大學醫學部のバーバー博士によつて報告された。博士は二十日鼠を使つて實驗を試みたのであるが、その實驗材料を全量重水に代へてやつたら、二十日間位なしでおつた。

バーバー博士はある動物に二十日鼠を與水の半分のみならば死ぬことはないけれども、非常に短い壽命に終るといふ結果を發見した。

また　重水は動物の發育にも死を與へてゐる。通り人類の發明されて來た何百年、いや恐らく何千年もの間人間のそばにあつた燈火であつた。そしてそれを發見には戸外の照明のために今日あたはそれが用ひられてゐる。

×

ランプが發明されたのもずつと早い時代のことであつた。それが如何に古いことであつたかは、あの洞穴の壁畫家たちが、南フランスやスペインの洞穴の中で、驚嘆すべき獲物であつた。そしてそれ以來ヨーロツパからは姿を消してしまつた馴鹿の群れや、さまざまの動物の姿の上に、その燈火の光を投げてゐるのを見ても明らかである。

馴鹿は左利き

フリードマン氏の說

現在で鹿をのせて驅ける馴鹿を飼育してゐるのは、ラップランドとシベリアの國境地帶のツングース族とサモエード族とだけである。これからお話しようといふのは、この馴鹿といふ動物は、すべてが左利きだといふことである。

フリードマン氏は先づこの點に着目した。

以上のやうな動物が左利きであるといふことは、これまでに全然知られてゐなかつたことである。

フリードマン氏はこの點について次のやうに述べてゐる。

×

クロームといふ元素にギリシヤ語の色を意味する語、Chroma クロームから來たが、その故は、この金屬の化合物には、オレンヂ、青、その他種々なる色を呈するからである。

×

青色エチアンの硫酸塩は、銅の塩の中の二十倍以上の強さの青色を呈する。

×

コーカサスのエルブルツ山上の岩塩の一種で、ソグニート鑛の手で四十五度三分のホテルが發見されてゐる。ここに述べるとこんな微細なことでもあるが、まだ自分の二倍の容積があつてもうしても殘る